

■ 現状と課題

ゆとりや豊かさを実感できる生活を求める意識が一段と高まる中、人生に楽しさや感動を添える芸術・文化の果たす役割は極めて大きくなっています。

こうした中、平成18年11月に開催された国民文化祭では、本市で「ひかり人形劇フェスティバル」が開催されたことを契機に、質の高い芸術・文化活動が地域に根付こうとしています。

本市では、財団法人光市文化振興会や光文化協会等と連携を図りながら、各種の芸術・文化活動の推進や活動団体の育成支援に努めるとともに、施設の効果的な活用や計画的な維持管理など、文化に親しみやすい環境づくりを進めてきました。また、市民ホールや文化センター、光ふるさと郷土館などでは、市民の自主的な芸術・文化活動が活発に行われてきました。

今後は、多様化・高度化する市民の文化的ニーズに対応するため、各種団体との連携のもと、優れた芸術や文化にふれることができるイベントの企画、さらには新たな文化団体の誕生や活躍を応援する風土づくりを進めていくことが必要です。

■ 基本方針

質の高い、優れた芸術・文化にふれあう機会をさらに拡充するとともに、芸術・文化団体や指導者等を育成し、市民による自主的な芸術・文化活動の活性化を図ります。

また、市民ホールや文化センター等の文化施設の効果的な活用や、活動に関する情報提供などにより、市民が優れた芸術・文化に親しめる環境を整備します。

■ 政策展開の方向

(1) 市民の芸術・文化活動の活性化

市民の芸術・文化活動に対する関心を高め、活動機会の拡充を図るとともに、各種芸術・文化活動の情報提供や啓発活動の充実を図ります。

また、市民の自主的な活動を支援し、芸術・文化団体や指導者、さらには活動を担う人材の育成に努めるとともに、幅広い活動分野と年齢層を視野に、文化行事への参加者の拡大に努めます。

(2) 芸術・文化にふれる機会の充実

市民の多様なニーズに対応し、身近に親しむことができるよう、芸術・文化団体等と連携し、各種文化講座の充実や、優れた芸術・文化にふれることのできるイベントを企画し、開催します。

(3) 文化施設の利用促進と環境整備

市民ホールや文化センター、さらには公民館等を効果的に活用し、各種芸術・文化活動を促進するとともに、良好な施設の維持管理に努めます。

また、市民が芸術・文化活動に関する情報が入手しやすい環境の整備を進めるとともに、施設利用などを促進します。

■ まちづくりの指標

まちづくりの指標	近況値 (H23)	後期目標 (H28)
①文化施設の年間総利用者数	83,001 人	96,000 人
②文化・芸術活動の振興に関する満足度	28.8%	30.0%

■ 主要な事業例

	後期					担 当
	H24	H25	H26	H27	H28	
地域における芸術・文化活動の支援	→					文化・生涯学習課
芸術・文化活動に関する各種情報の提供	→					文化・生涯学習課
文化団体への活動支援	→					文化・生涯学習課
芸術・文化鑑賞機会の提供	→					文化・生涯学習課
市民参加型の芸術・文化活動の企画・開催	→					文化・生涯学習課
市民ホール、文化センター等の整備充実	→					文化・生涯学習課

■ 現状と課題

本市には、国指定史跡の石城山神籠石をはじめ、国指定重要文化財の石城神社本殿や賀茂神社の銅鐘、県指定無形民俗文化財の島田人形浄瑠璃芝居など、有形・無形の文化財が多数存在するとともに、早長八幡宮の秋まつりや東荷神舞など地域に根差した伝統的行事や祭りが、各所で受け継がれています。

本市では、これらの文化財や伝統行事の保存・継承に努めるとともに、同様の財産を有する関係自治体と連携しながら、まちづくりへの活用を図ってきましたが、少子高齢化の進展や地域コミュニティへの帰属意識の希薄化など、時代の変化により、地域文化を引き継ぐ若者が減少しており、脈々と受け継がれてきた特色ある伝統行事や祭りなどの承継が困難になりつつあります。

こうしたことから、次代を担う子どもたちの体験学習の機会のさらなる充実を図るとともに、地域との協働、関係団体との連携により後継者の育成に努めるなど、より多くの市民がふるさとの歴史への誇りや愛着の持てる取組みを進め、地域文化の保全・継承につなげることを求められます。

■ 基本方針

国指定史跡石城山神籠石の適切な保存や継承など、貴重な文化財や歴史的資源の発掘・保存を進めるとともに、市民の文化財への保護意識を高めるための普及啓発活動を推進します。

また、地域と協働して、特色ある伝統芸能の保存に向けた後継者育成や、子どもたちの体験機会の充実に努めます。

■ 政策展開の方向

(1) 文化財・歴史的資源の保存・継承

郷土史研究グループ等との連携のもと、多様な文化財や歴史的資源の発掘・保存や調査・研究を行うとともに、伊藤公資料館に収蔵する資料等の収集・保存を推進します。

また、「史跡石城山神籠石保存管理計画」に基づき、石城山神籠石の適切な保存・継承に努めます。

さらに、市民の文化財への保護意識を高めるため、多様な普及啓発活動を推進します。

(2) 伝統芸能や祭りの保存・継承

地域と協働して、地域の特色ある伝統芸能の保存に向けた後継者の育成支援や、地域に密着した伝統的な祭りの保存・継承を図るとともに、市内に点在する伝統芸能・文化等のネットワーク化を図り、地域コミュニティの活性化や地域間の連携と人的交流を促進します。

また、学校等との連携のもと、体験学習などの機会を積極的に活用し、次世代を担う子どもたちに、地域の伝統芸能等にふれる機会を創出します。

(3) 文化財・伝統芸能等の活用

文化財の保存・公開を行う文化センターや光ふるさと郷土館等の効果的な活用とネットワーク化を推進するとともに、講演会や講座等を開催し、文化財や伝統芸能等に対する意識の醸成に努めます。

また、史跡や文化財に至るアクセス道の維持管理など、周辺環境の整備に努めます。

■ まちづくりの指標

まちづくりの指標	近況値（H23）	後期目標（H28）
①地域の行事や祭りに積極的に参加している人の割合	46.4%	60.0%
②「文化財の保存・活用」に関する満足度	31.8%	40.0%

■ 主要な事業例

	後期					担当
	H24	H25	H26	H27	H28	
石城山神籠石の保存・管理	→					文化・生涯学習課
文化財の発掘及び調査・研究	→					文化・生涯学習課
文化財・歴史資料の保存・保護	→					文化・生涯学習課
伝統芸能の後継者の育成	→					文化・生涯学習課 地域づくり推進課
伝統行事・祭りの継承と情報発信	→					文化・生涯学習課 地域づくり推進課
文化財・伝統芸能等を活用した事業の実施	→					文化・生涯学習課
石城山史跡の保存・活用とアクセス道路の整備	→					文化・生涯学習課